

自己評価報告書

平成23年3月25日現在

機関番号：14501

研究種目：基盤研究 (C)

研究期間：2008～2011

課題番号：20520685

研究課題名 (和文) 在日インド人社会における空間の再編成—脱領域化と再領域化に着目して

研究課題名 (英文) Spatial reorganization of Indian community in Japan— focusing on de-territorialization and re-territorialization

研究代表者

澤 宗則 (SAWA MUNENORI)

神戸大学・大学院人間発達環境学研究所・准教授

研究者番号：40235453

研究分野：人文地理学

科研費の分科・細目：人文地理学・人文地理学

キーワード：在日インド人、グローバル化、地理学、空間、移民

1. 研究計画の概要

本研究の主たる論点は、次の2点である。1つ目は、移民達は先進工業国で「自分達の場所」をどのように作りあげてきているのだろうか。越境することにより彼らの社会やアイデンティティのあり方にどのような変化をもたらしてきたのだろうか。2つ目は、東京のインド人社会はきわめて新しい移民社会であるが、彼らの新しいコミュニティを形成する上で、近くにいる者との対面接触に加え、遠くにいる者や未知の者同士を直接結ぶインターネットが重要な役割を果たしている。このような新しいエスニック・コミュニティの成立においてインターネットはどのような役割を果たしているのだろうか。そしてそれは、「自分達の場所」を創造することにどのように関わっているのだろうか。ギデنز (Giddens, A.) の近代性に関する理論を援用して、在日インド人社会の空間がグローバル化のもとで再編成される過程を脱領域化と再領域化の概念を用いながら考察する。

2. 研究の進捗状況

ギデنز (Giddens, A.) の近代性 (modernity) に関する理論を援用して、在日インド人社会の空間がグローバル化のもとで再編成される過程を脱領域化と再領域化の概念を用いながら考察した。具体的には、1) グローバル化した経済のもとでの IT 産業の隆盛と関連づけながら、インド人移民の現代的意味を明らかにし、2) 日本における IT 技術者を中心にした新しいインド人移民の動向を分析した。3) インド人移民の新たな集住地である東京都江戸川区において、新しいコミュニケーションツールであるイン

ターネットを媒介にして、対面接触によるコミュニケーションを前提とした古くからの定住地とは異なる「自分達の場所」が創造されている過程を調査した。4) 以上を脱領域化と再領域化の概念を用いながらまとめ、東京のインド人社会の特徴の基盤には、フレキシブルな IT 産業の雇用形態があり、それはまさに現在のグローバル化した経済の特徴であることを検証した。これらの調査研究結果を、以下で示す論文3本と書籍3冊において示した。

3. 現在までの達成度

①当初の計画以上に進展している。

(理由) 論文3本 (うち一本は国際雑誌、残る2本は国内査読雑誌) および、書籍3冊の研究成果は計画以上の成果である。

4. 今後の研究の推進方策

当初の研究目的や意義が学会で高く評価されているので、さらに一層の研究成果を挙げるために調査と分析を進める。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計3件)

- ① 澤 宗則, グローバル経済下のインドにおける空間の再編成—脱領域化と再領域化に着目して, 人文地理, 62, 2010, pp. 132-153, 査読有
- ② 澤 宗則・南埜 猛, グローバルシティ・東京におけるインド人集住地の形成—東京都江戸川区西葛西を事例に, 国立

民族学博物館調査報告, 83, 2009,
pp. 41-58. 査読有

- ③ SAWA Munenori & Minamino Takeshi,
Emerging of An Indian Community in
Tokyo: A Case Study of Nishikasai, The
Indian Geographical Journal, 82-1,
2008, pp. 7-26. 査読無

〔学会発表〕(計1件)

- ① 澤 宗則、移民研究における脱領域化と
再領域化の概念の可能性ーインド移民を
事例としてー、日本地理学会、2009年3
月、帝京大学

〔図書〕(計3件)

- ① 山下清海編、現代のエスニック社会を探
るー理論からフィールドへー、学文社、
2011、224 ページ
- ② 高原明生・田村慶子・佐藤幸人編『現代
アジア研究 第1巻 越境』慶應義塾大
学出版会、2008、472 ページ
- ③ 山下清海編、エスニック・ワールドー世
界と日本のエスニック社会、明石書店、
2008、257 ページ

〔その他〕

研究者の交流の場として、以下のホームペ
ージを作成・運営している。

<http://indiansinjapan.blog73.fc2.com/>